

しょうがっこうをおくる会 様 プラン特別プロジェクト エクアドルにおける学校建設プロジェクト 中間報告書

プロジェクトの概要

エクアドル アスアイ県ジーマッド地区ベジャピスタ・コミュニティにあるベンハミン・アルボルノス小学校は、適切な設備や教室数の不足により質の高い教育を行うことができず、留年・中退率の高さや、低い学習達成度に悩んでいます。同校では、2人の教師のもと60人の児童が学んでいますが、全2教室は通気が悪く、衛生的ではありません。また、教室不足のため、複式学級で授業を行ったたり、コミュニティから遠く離れた近隣地区の学校に通学している子どもたちも数多く存在します。

本プロジェクトでは、前述の状況を改善するために、ベンハミン・アルボルノス小学校に校舎1棟を建設します。

プロジェクトの進捗状況

プロジェクトは2010年1月に開始して以来、順調に進捗しています。現在までに、以下の活動を実施しました。

プロジェクトと建設工事

2010年1月にプロジェクト委員会を立ち上げ、プロジェクトの実行、及び進捗管理について、トレーニングを実施しました。プロジェクト委員会が業者を選定しました。この後、業者による建設予定地の視察や設計図の作成、工事費用の再見積もりが行われました。2010年3月から実際の工事が始まり、地域の人々も労働力を提供するなど、協力しながら工事を進めています。またプランは工事の品質管理や進捗確認を行うため、定期的に現場を訪れ、確認をしています。

工事は順調に進んでおり、六角形の新しい校舎が完成間近となりました。保護者を中心とする地域の人々は、これを機会に子どもを学校に通わせていない親が、学校教育の重要性を理解し、子どもたちを通学させるようになることを期待しています。





児童の声



「新しい教室では、もっと一生懸命勉強できるようになると思います。お父さんやお母さんたちも協力しています。」

(ホアナ/ 12歳 7年生)



「ご支援のおかげで、新しい教室ができるので、とても嬉しいです。お父さんやお母さんたちもプロジェクトに協力しています。」

(アンヘル/10歳 6年生)



「自分たちのコミュニティに新しい教室ができることを、とても誇りに思います。おかげで、在校生だけでなく、私の妹や他の小さい子たちも、将来、素敵な教室で勉強できるようになります。」

(ヘニー/10歳 6年生)



「支援者の方に、心からのお礼を言いたいと思います。本当にありがとうございます。」

(マイラ/10歳 6年生)



「新しい校舎はとても勉強しやすい設計だと思います。新しい教室では、一生懸命勉強して、たくさん遊びたいです。僕たちのコミュニティのすべての子どもにとって、とても良いことだと思います。」

(ドリス/12歳 7年生)



「ご支援のおかげで、とても綺麗な教室ができます。感謝しながら、勉強したいと思います。」

(ナンシー/11歳 6年生)



「支援者の方と、プランと、僕たちのお父さんやお母さんが協力してくれたおかげで新しい教室ができることを、とても感謝しています。一生懸命勉強して、今よりも立派になりたいと思います。」

(エドウィン/11歳 5年生)



「綺麗な新しい教室を作ってくれた支援者の方、お父さんとお母さん、先生たち、そしてプランに心から感謝したいです。完成した新しい教室で勉強できる日が待ちどおしいです。」

(カテリーネ/10歳 5年生)

お問い合わせ先：財団法人 日本フォスター・プラン協会(プラン・ジャパン)
プラン特別プロジェクト担当 電話 03-5481-6265/ FAX 03-5481-6200